

CS3イベント設定内容

2022.08.19

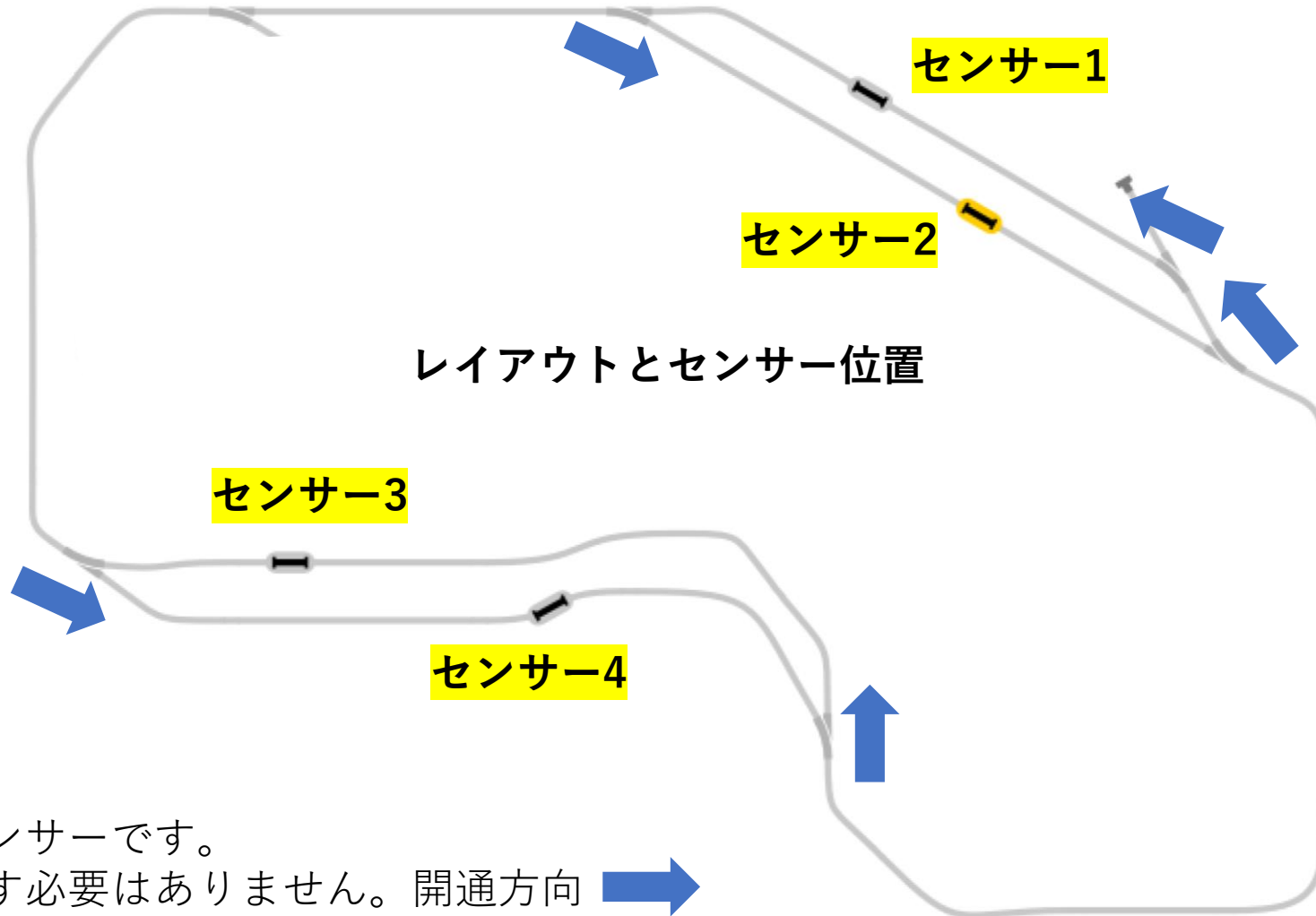
【注意・免責】

Ver2.4のCS3です。基本モードで動作します。録画運転で作成しています。


あくまで個人が趣味で設定したものを例として公開しているので、動作保証、クレーム等は対象外です。

自己責任でお願いします。

設定で「イベント拡張モード」がオンになっている場合は、各自で判断して適切な設定を行わないと、このまま実行しても正しく動作しない場合があります（扱える項目が余分に増えるため）。



すべてコンタクトセンサーです。

ポイントは全く動かす必要はありません。開通方向 

運行ダイヤ

Twitterの動画で動きが見られます。

駅が2つある単線のオーバルを、2編成の列車が対向方向に、交換しながら走ります。

66型の列車は、下の駅は通過して、1周して元の駅に戻ります。

BR02型の列車は、どちらの駅にも停車します。

66型の列車が、下の駅を通過する時、BR02型が停車していると、減速して通過して、再加速します。

66型は、発車時に汽笛を鳴らして、加速時と、減速した後の再加速時に発煙します。

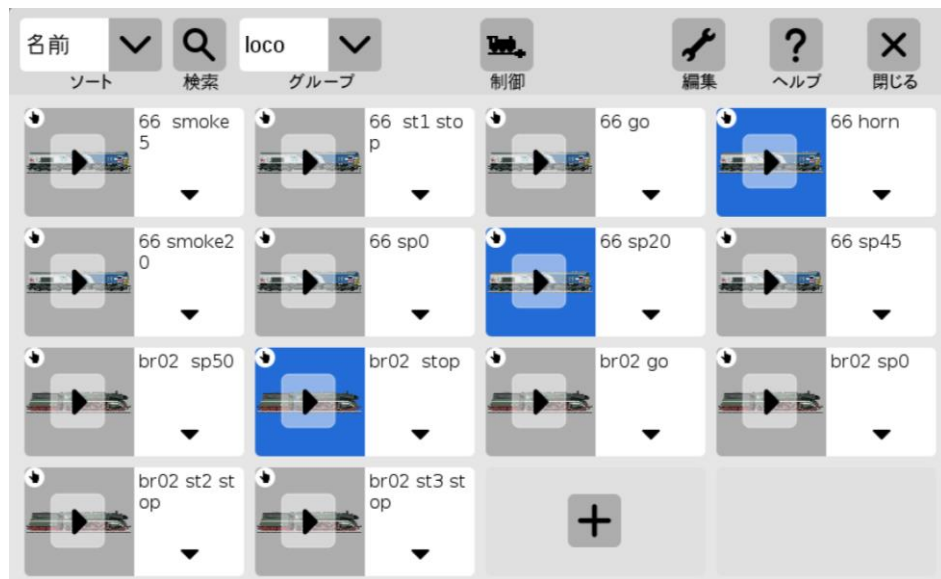
BR02型は、発車時にライトを点け、汽笛を鳴らして、走行中は発煙します。停車時は発煙を止めます。

下の駅では、66型通過後には、BR02型もすぐに発車します（単線を同時に走る）。

イベント総数25

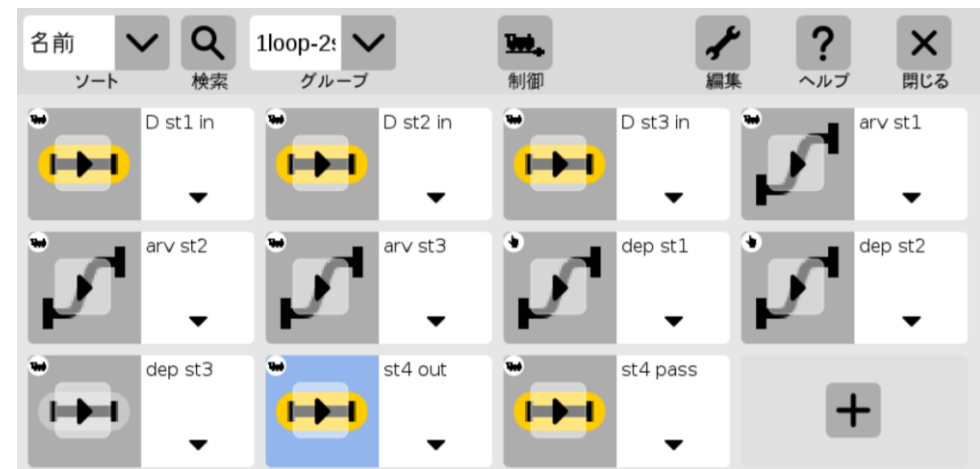
録画運転で作成するイベント

機関車の動きごとに、実際に運転して録画します。
それを再生用パーツとして、イベント登録しておきます。



録画運転を組み合わせて作るイベント

登録した再生用パーツと条件を組み合わせて、
運行ダイヤを作成します。



次ページからの詳細は、左上から、右下へ順番に並んでいます。
※名前を確認してください。

イベント作成の手順イメージ

「機関車ごと」「アクションごと」に分けて、録画する



録画したボタンを押して、走らせたいように運転して何番のセンサーを踏んでいるかを確認。



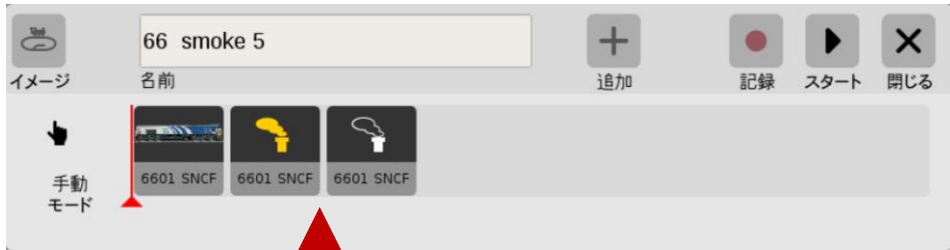
「センサーごと」に押した録画ボタンのアクションを並べてイベントを作る。タイミングが合っていないところを「遅延」で調整する。

この色の項目で「録画運転」で作成するイベントができる。

【ヒント】
動かしている列車だけでなく、止まっている列車のセンサー番号も確認して、条件に加えよう！

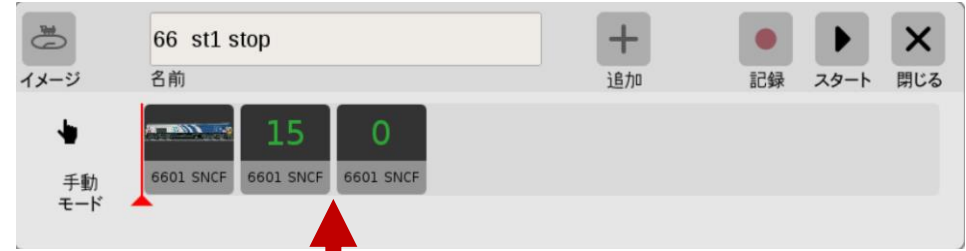
この色の項目で「録画運転を組み合わせる」で作るイベントができる。

66型の発煙（短い5秒）



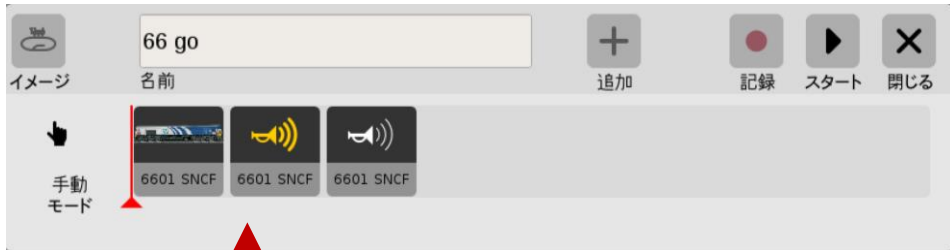
5秒間発煙して、発煙オフ
※機関車や好みによって遅延秒数は変わるので、
必ず手持ちの機関車で操作を録画してください。

66型が1番線で停車する



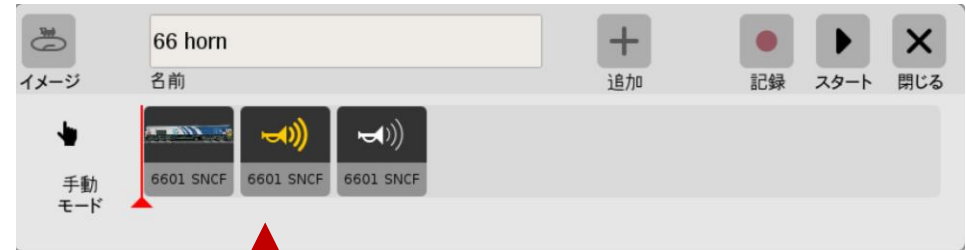
速度を15キロに減速する。
停車目標まで進んだら停車する。

66型の発車時の演出



警笛を鳴らす。

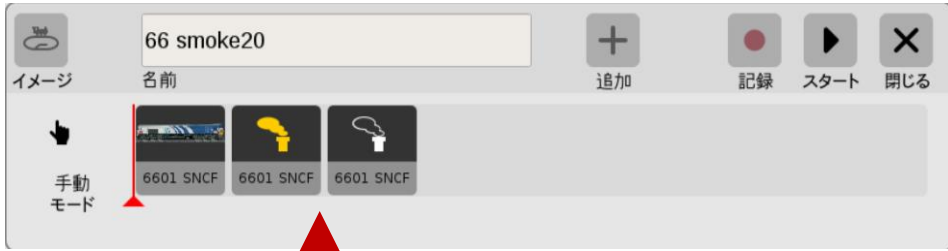
66型の警笛を鳴らす



警笛を鳴らす。

この2つは見た目が全く同じに見えるが、録画しているので、実際には警笛の「鳴らし方」が違う。
だから、頭で考えるのではなくて、実際に運転操作したものを録画することが大事！

66型の発煙（長い20秒）



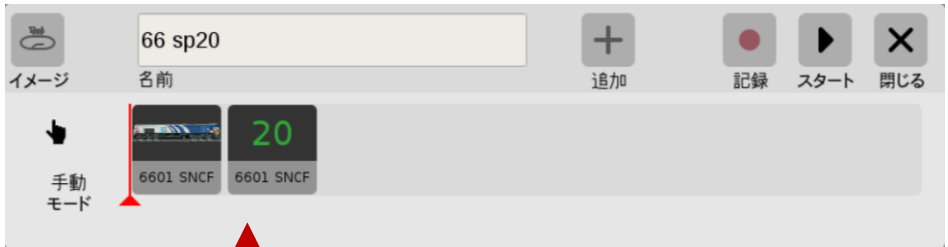
20秒間発煙して、発煙オフ

66型を即時停車



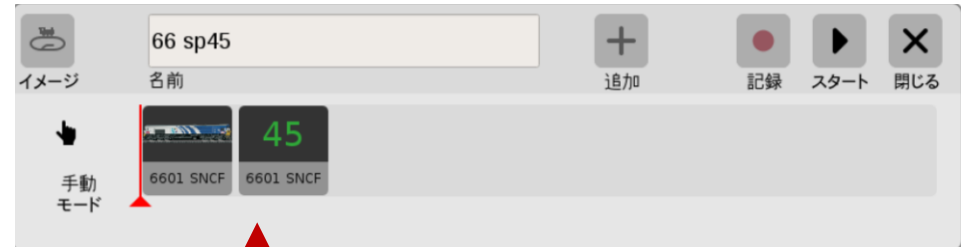
すぐに停車する

66型が20キロで走行する



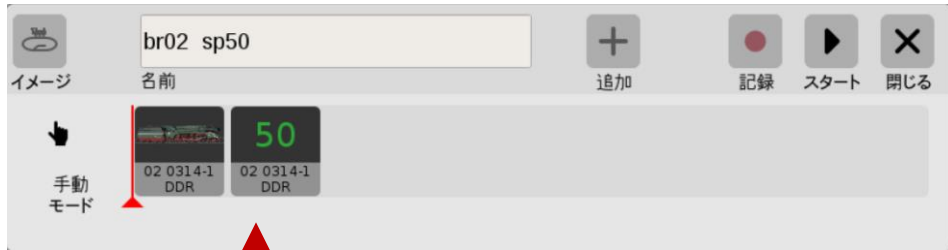
20キロで走る

66型が45キロで走行する



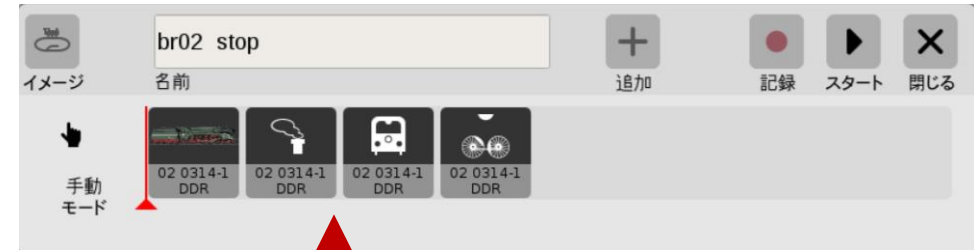
45キロで走る

BR02型が50キロで走行する



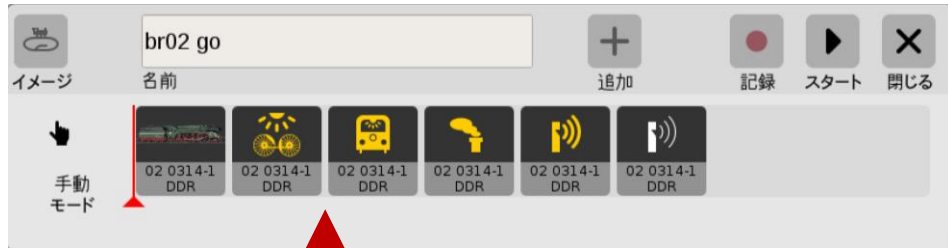
50キロで走る。

BR02型の停車時の演出



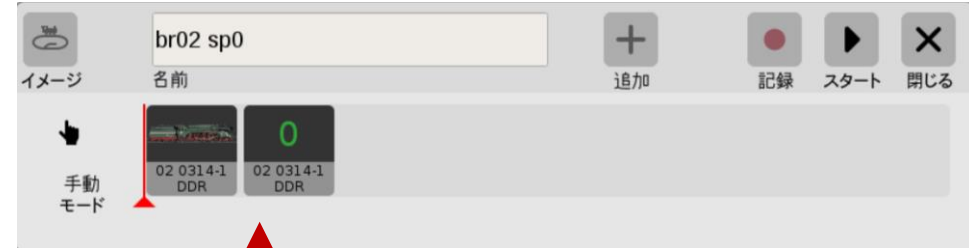
発煙をオフにする。(連続発煙5分制限の解除)
運転席のライトを消す。
動輪灯を消す。

BR02型の発車時の演出



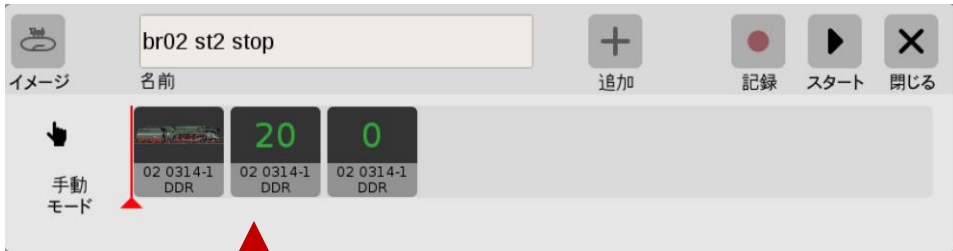
動輪灯を点ける。運転席のライトを点ける。
発煙する。汽笛を鳴らす。

BR02型を即時停車



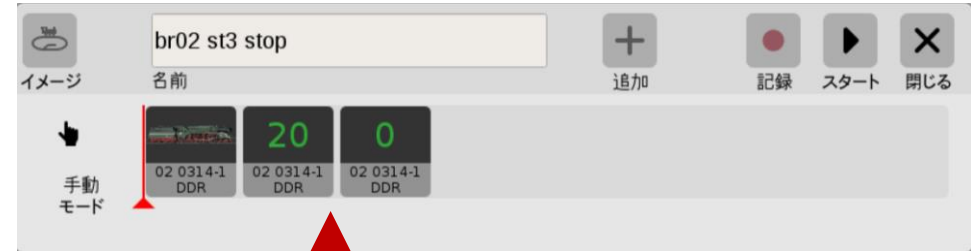
すぐに停車する

BR02型が2番線で停車する



減速してから停車目標で停車する。

BR02型が3番線で停車する



減速してから停車目標で停車する。

この2つは見た目が全く同じに見えるが、実際には駅が違うので、停車動作が異なる。
だから、頭で考えるのではなくて、実際に運転操作したものを録画することが大事！

1番線に列車が来た時の運行指示



2番線から列車を発車させる。

さらに、2番線に列車がいる時だけ実行するという条件を付ける。
※条件にするコンタクトをこの位置に持ってくるだけの操作。他も同じです。

1番線に列車が来たら実行する

なぜ『発車させる番線に列車がいる時だけ実行する』という条件をつけるのかというと、何らかの理由（CSをSTOP→Goさせたとか）で、対向列車が遅れて到着した場合に、どちらの列車が先に駅についていても、事故にならないようにするため。考えるのではなく、実際に運転してみれば、この条件が必要だということがわかる。

2番線に列車が来た時の運行指示

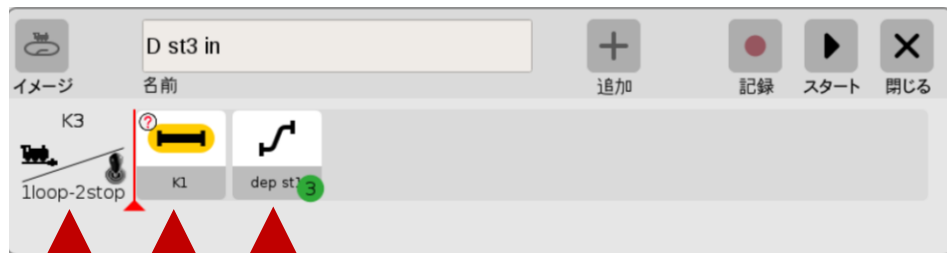


1番線から列車を発車させる。

さらに、1番線に列車がいる時だけ実行するという条件を付ける。

2番線に列車が来たら実行する

3番線に列車が来た時の運行指示

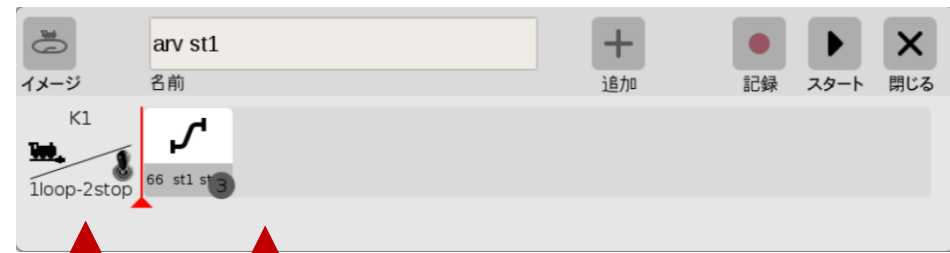


1番線から列車を発車させる。

さらに、1番線に列車がいる時だけ実行するという条件を付ける。

3番線に列車が来たら実行する

1番線に列車が来た時の列車のアクション



「66型が1番線で停車する」イベントを実行する。

1番線に列車が来たら実行する

2番線に列車が来た時の列車のアクション

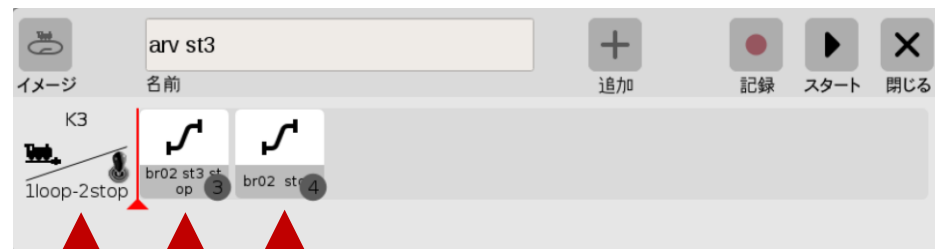


「BR02型の停車演出」イベントを実行する。

「BR02型が2番線に停車する」イベントを実行する。
※録画運転の秒数に合わせて遅延させること。

2番線に列車が来たたら実行する

3番線に列車が来た時の運行指示



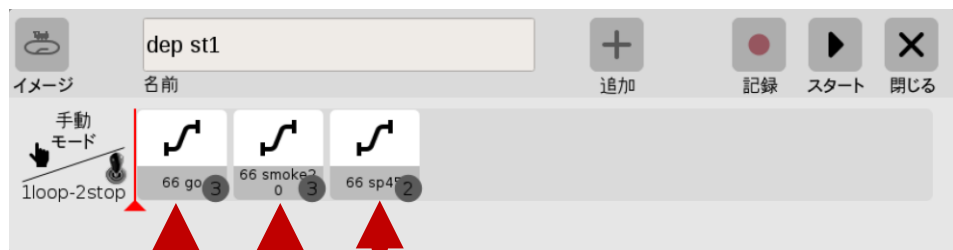
「BR02型の停車演出」イベントを実行する。

「BR02型が2番線に停車する」イベントを実行する。
※録画運転の秒数に合わせて遅延させること。

3番線に列車が来たたら実行する

この2つも録画運転していないと、
調整のための秒数がわからない。
実際に模型で運転しないと、
正しい運行ダイヤは組めない。

1番線から列車を発車させるアクション



「66型が45キロで走行する」イベントを実行する。

「66型が発煙する（20秒）」のイベントを実行する。

「66型の発車時の演出」イベントを実行する。

発車に関する演出をして発車していく。
演出のタイミングは遅延秒数で調整する。

2番線から列車を発車させるアクション



「BR02型が50キロで走行する」イベントを実行する。

「BR02型の発車時の演出」のイベントを実行する。

3番線から列車を発車させるアクション

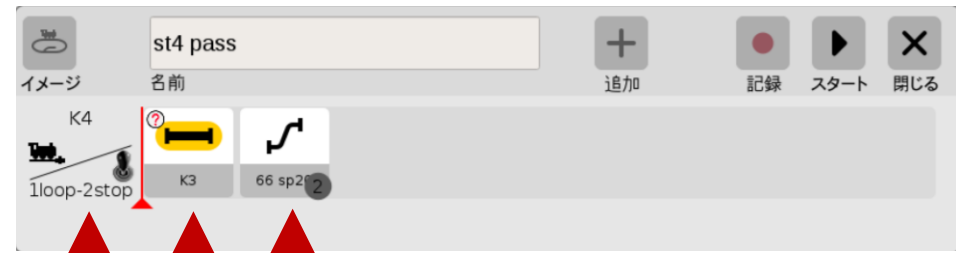


「2番線から列車が発車する時のアクション」イベントを実行する。=2番線と同じようにBR02型が発車する。

「2番線に列車がない時だけ実行する」という条件を付ける。

4番線に列車が来たら実行する

4番線を列車が通過する時のアクション

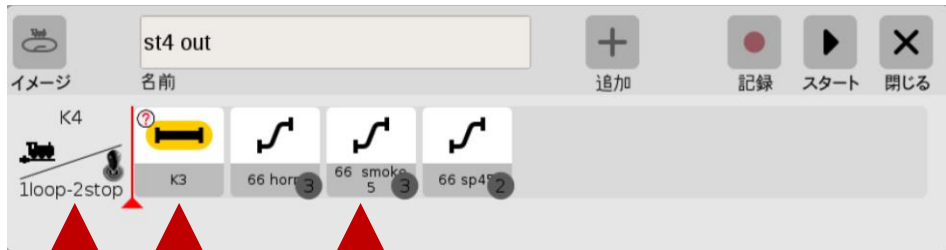


「66型が20キロで走行する」イベントを実行する。

「3番線に列車がいる時だけ実行する」という条件を付ける。

4番線に列車が来たら実行する

4番線を列車が通過し終わった時のアクション



「66型の警笛を鳴らす」イベント、「発煙5秒」イベント、「45キロで走行する」イベントを実行する。

「3番線に列車がいる時だけ実行する」という条件を付ける。

4番線から列車が離れたら実行する